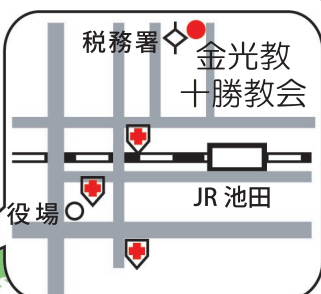


No.79, 2018 Nov.,

11 月・生神金光大神大祭号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213

Facebook「金光教十勝教会」

金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

十勝教会 だより 79



facebook



HP(PC 専用)



金光教公式 HP

平成三十年 生神金光大神大祭を迎えて

金光教十勝教会

私たちが暮らす地球を宇宙の「ゆりかご」と表現することがあります。「ゆりかご」にゆられ赤ちゃんが安心して眠れるように、地球があつてすべてのいのちは安心して生きていくことができるということです。

そこで地球という「ゆりかご」についてちょっと考えてみましょう。

普通「ゆりかご」は赤ちゃんのことを思つて親が用意します。では地球という「ゆりかご」は誰が用意してくれたのでしょうか。それは天地金乃神様です。

天地金乃神様はすべてのいのちの立ち行きを願い、地球(天地)

という「ゆりかご」を調え、その働きを整えて下さっているのです。

そして、神様が整えてくれた「ゆりかご」の中に生かされる私たちひとりひとりがまた、天地を構成する「ゆりかご」の一部なのです。ですから人間はたとえ親子でなくともそれぞれが他のいのちを支え、互いに支え合い、他のいのちを育む役割を担ってきたのです。

しかし、私たちはこの天地(地球)を「ゆりかご」として捉えているでしょうか？

太陽の光、大地の恵み、水に空気。私たちにとって地球(天地)

はかけがえのないものです。しかしそれは、人を生かし育んでくれるからでしょうか。そうではなく、天地の恵みは人が利用すべき資源だから大切だと思っ
てはいないでしょうか。

○

天地金乃神様は、私たち人間が抱える様々な難儀の元は「人間は光や水や大地、そこに育つ植物をはじめ天地の働きと恵みに支えられている」ことを知らず「天地は利用するもの」だと心得違いをしていること、何よりも「その天地の働きを整える神様のご都合あつてのことなのに、それを知らず、人間の都合のいいように何事もしようとすることだ」と教祖様を通じお知らせ下さっています。

それだけではありません。私



写真 - 金光教祖奥城 (お墓)

教祖生神金光大神様は、安政 6 年からお亡くなりになる明治 16 年まで、「神様のお働きに生かされる人であること」を説かれ続けました。

私たちは「多くの人に支えられ、互いに支え合って暮らしています」が、そのことを知らず、「自分の都合だけを優先して」物事を進めていこうとすることが色々な難儀の元になっているのです。

○

天地金乃神様が、教祖様を通じて私たちにそのことお伝えくださったのは、「氏子が助からねば」

という願いがあつてのことにありません。私たちがどれほどのちを育む神様のご都合を知らず、勝手な振る舞いを続けてこようと、神様は私たちを見捨てることなく、その助かりを願われています。

○

松村真治先生（京都鹿ヶ谷教会長）があるお話の中で

「いのちの揺り籠としての天地を資源とのみ見て、利用することに熱心な世の中になっていますが、親が子を育てるのと同じように、いのちが育つお役に立つことを通して自身が育てられる、いのちのネットワークを生きていくことが、天地といういのちの親様へお応えする道につながるのでと愚考します。」と語られています。

天地という「ゆりかご」を整えてくれる天地金乃神様あつての私たちです。

私たちは教祖様を通じ、あらためて神様・天地と人間との関わりを知り、その神様の願いを知ることになりました。

それは、天地のなかに生かされる人としての指針であり、人としてよりよい生き方を進める目標でもあります。

今年も教祖生神金光大神様の御大祭を迎えました。

教祖様を通じ私たちに「助かってくれ」と問い続けられる神様の願いに応え、まず天地という「ゆりかご」に生かされる人間であることをあらためて自覚し、その中でそれぞれが担う人としての役割を務めていきましょう。

教会 日 誌

平成30年8月1日から11月6日まで

8月3日 北海道教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」、旭川市、6名参加。5日まで。



写真 - みどりのひろば

今年のキャンプは、薪を使ってご飯を炊いたり料理を作ったりしました。子供たちの多くがマッチを使うのが初めてで、火をつけるにも四苦八苦していました。

8月6日 士幌町、K家、式年祭。

8月15日 北見市、S家、三柱霊神式年祭。

8月19日 教会設立記念祭・布教功労者報徳祭執行。

9月6日 北海道胆振東部地震発生。

9月6日 音更町、M家、例年霊祭。



写真(上)- 9月6日 停電中の広前
9月6日に発生した胆振東部地震は地震の揺れの被害だけでなく、全道を長時間の停電が襲い、各所に大きな影響をもたらしました。お亡くなりになった方々の霊様の立ち行きと被災地の一日も早い復興を御祈念します。

この震災を教訓として「地震を体験する前と後と、どう違うことができるのか」神様から問われているのかもしれない。



写真 - 教会設立記念祭布教功労者報徳祭



9月26日

長沼町、S家、二柱霊神式年祭。

9月23日

秋季霊祭・二代教会長玉置實高広大人
四十年祭。

9月10日

金光家先祖祭、みよ子先生参拝。

写真 秋季霊祭・二代教会長
四十年祭



9月29日 音更町、M家、葬儀式。30日まで。

10月16日 音更町、M家、旬日祭。

10月21日 釧路教会、布教二一〇年記念祭、10名
奉祝参拝。

10月28日 網走教会大祭、交流参拝。

11月3日 夕張教会大祭、教会長祭主・教話奉仕。

11月3日 北見教会大祭、交流参拝。

11月4日 帯広教会大祭、交流参拝。

11月4日 教会玄関、トイレ、車いす用スロープ
設置。

11月6日 帯広市、S家、一年祭・納骨祭。

十勝教会設立百年記念祭は

二〇二〇年七月十二日(日)です

十勝教会設立二〇〇年記念祭奉迎委員会

十勝教会これからの祭典行事日程

- 薫別講社生神金光大神大祭 12月 6日(木) 11時
- 越年(年末)感謝祭 12月31日(月) 13時30分
- 元 日 祭 1月 1日(火) 13時30分
- 薫別講社年頭祭 1月 5日(土) 11時
- 信徒会総会・新年会 2月 3日(日) 11時
- 100年記念祭奉迎委員会 2月 3日(日) 11時

(※日程は変更になることがあります)

♪親神のよぎしのままに♪

一、親神のわが生神
よぎしのままに
取次の
代々を経て
神からも
西方の
親神の
生神を
神のひれ
照り映えて
取次の
とこしえに
金光大神
道立ちしより
今につけり
氏子からも
恩人なりと
のらし給える
讃えまらん
木綿崎山に
日の光なす
道の靈光を
仰ぎまらん

食 前 訓
食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ
食 後 訓
体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり

- 一、祭員参向着席
- 一、拝 礼
- 一、神前拝詞奉唱
- 一、取次唱詞奉唱
- 一、祭主祭詞奏上
- 一、祭主玉串奉奠
- 一、天地書附奉体
- 一、参拝者代表玉串奉奠
- 一、金光大神賛仰詞奉唱
- 一、拝 礼
- 一、祭員退下
- 一、吉備舞奉納「親おもろ」
- 一、御神伝奉説・講師紹介
- 一、教 話

玉置千鶴子 先生

先「親神のよぎしのままに」斉唱

かみひと 神人あいよかけよの生活運動

御取次を願ひ頂き

願 い

神のおかけにめざめ

おれと喜びの生活を進め

神心となつて人を 祈り

助け 導き

神人の道をあらわそう



KONKOYO
金 光 教